

「令和6年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート（No.2）」

■ 研修時期・研修先

時期：令和6年6月9日（1日）

研修先：農事組合法人となん（盛岡市）

■ 研修生について

現在公務員のBさん。近い将来農業界へ転職を行い、障害者の方々を受け入れられるような農業法人を創りたい。また、農業への知識はまだ全然ありませんが、いろんなことを学ばせていただきたい！とお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

経営面積は、水稻(主食用 731ha、加工用 53ha、米粉用 18ha、飼料用 41ha)、小麦 90ha、大豆 4ha、加工用トマト 1ha を作付し、生産・販売しています。

地域農業が抱える諸問題の解決を図り、地域農業を次世代にうまくバトンを渡す役割を果たしたいとの趣意から、平成 25 年 3 月に設立されました。

また、農業を知らない人にも農業に触れて経験してほしいと田植え体験イベントなども実施し、地域とのつながり作りも行っています。

【HP】 <https://tonan-agricoop.jp/>

■ 研修の内容

マルチ張り、さつまいも定植、トラクタでの耕起、かぼちゃ（ハロウィン用）の播種と様々な研修を行いました。

盛岡農業改良普及センターの農業普及員の方にも出席いただき、ご助言をいただきました。



■ 研修の感想

- ・ 今回の研修を通じて、一緒に作業する方々と様々な会話をしながら作業ができた。
- ・ コミュニケーションがうまく取れたと感じたことから、何をやるかより、誰とやるかだと思いました。
- ・ また、作物の植え方についても勉強になりました。



■ 今後の予定

今後は、色々なことを体験し、色々なところに目を向け、自分のやりたいことを探して行きます。

引き続き、農事組合法人となんでサポートをしていただくことになりました。